

東日本大震災の概要



このパンフレットは、千葉県防災基本条例の制定を機に、千葉県にも大きな被害をもたらした東日本大震災の被害の状況や教訓等を取りまとめたものです。ご家庭や学校をはじめ、多くの県民の皆様にご覧いただき、災害に備え、自助・共助の取組を進めていただければ幸いです。

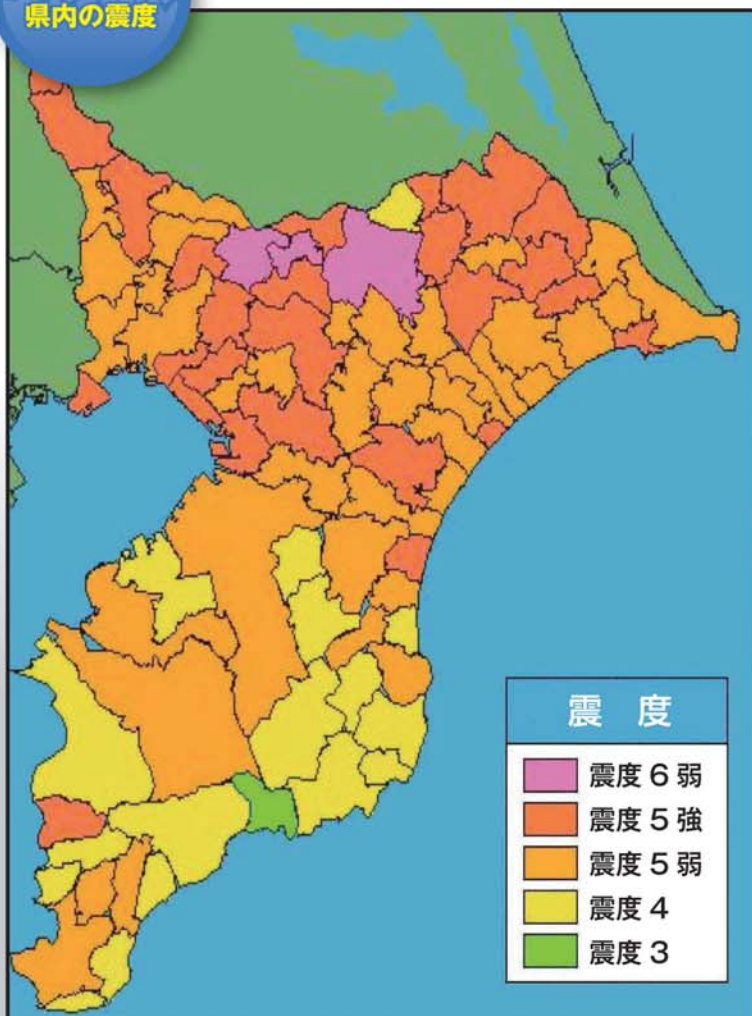
地震の発生状況

平成23年3月11日(金)14時46分、三陸沖で深さ24kmを震源とするマグニチュード9.0の地震が発生し、宮城県栗原市で震度7、宮城県、福島県、茨城県、栃木県の4県37市町村で震度6強を観測したほか、東日本を中心に北海道から九州地方にかけての広い範囲で震度6弱～1を観測しました。また、この地震(津波及び余震を含む)により、全国で死者18,703人、行方不明者2,674人、負傷者6,220人、全壊家屋126,574棟などの甚大な被害が発生しました。(消防庁発表:平成25年9月9日)

千葉県においても、成田市や印西市で震度6弱を観測するなど、県内全域で震度3以上の大きな揺れが千葉県を襲いました。

九十九里海岸に向かう津波

本震による県内の震度



千葉県の市町村別震度分布図



津波により倒壊した木造家屋(旭市飯岡)



液状化によるマンホールの浮き上がり(浦安市高洲)